

ひらか 連携ニュース

連携フォーラムひらかは、横手地区医療機関との病診・病病連携の推進・強化を目的に、平成24年より開催されています。今年で第5回を迎え、地域医療機関の先生方との交流と親睦を深める機会として、定着してきました。
今回は、連携フォーラムについてご紹介いたします。

第5回 連携フォーラム ひらか 開催！

日時：平成28年6月10日（金）18：30～

場所：横手セントラルホテル

参加者：地域医療機関の医師16名、横手市地域包括支援センター3名、院内関係者40名 計59名

報告・協議

1. どうするESD？
消化器・糖尿病内科科長
堀川 洋平
2. 当院泌尿器科の診療の現況
泌尿器科診療部長
鈴木 文博
3. 当院における在宅医療の取り組み
高橋内科医院院長
高橋 晶
4. 地域医療機関からの当院に対する
ご意見
横手市医師会長
西成 忍



今回のフォーラムでは、高橋内科医院の高橋晶院長より、ご高齢の患者さんが苦痛を最小限に、住み慣れた家で最期を迎えるためのご家族とのかかわり方や治療方法についてお話をいただきました。急性期治療を担う当院の医師にとって在宅医療の報告は貴重であり、「在宅におけるエンド・オブ・ライフケアに対する意識が変わった。」と好評をいただきました。また、西成会長からは、「各診療科の特徴や最新治療の報告は大変興味深く、紹介の際、参考になっている。」とのご意見をいただきました。今後も、地域との顔が見える、心が通じる連携を大切に、地域医療の充実に向け、努めていきたいと思っております。